

平成30年3月13日

NPO法人アサザ基金

代表理事 飯島 博 様

公益財団法人 国際湖沼環境委員会

理事長 竹本 和彦



平素より当財団の活動についてご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

第17回世界湖沼会議についての質問、要望をお寄せいただきましたことにつきましてお答えします。前回もお答えしましたが、第17回世界湖沼会議については、茨城県が設置した実行委員会組織において計画の検討が進められています。

先日、第2回開催案内書として全体像が公表されましたので、詳細をご覧くださいますようお願いいたします。(公式サイトアドレス：www.wlc17ibaraki.jp)

放射性物質の扱いについては、第5分科会「流域活動と物質循環」において湖沼及びその流域における物質循環に焦点をあて、化学物質等の動態等について討議することとしており、放射性物質も明記されていないものの、その対象となっております。第5分科会での発表が基本と考えますが、発表応募されたものについては、応募者の意向も踏まえ、有識者の審査により、採否、発表分科会、発表形式が決定されることとなります。

なお、原子力災害と湖沼環境をメインテーマにしたシンポジウムやセッションについては設置する予定はしておりません。